

I. 広東省

1. 人事異動

●先頃、省党委員会は莫高義・中華全国新聞工作者協会副主席を韶関市党書記に任命し、江凌・前韶関市党書記に別の職務を与えることを決定した（3月3日付『南方日報』）。

2. 省政府常務会議の開催

●26日晚、馬興瑞・省長主宰の上記会議が開催され、広東省の農業における供給構造改革を深く推進し、農業・農村を発展させるための新たな推進力の育成等に関する業務について検討・手配した。同会議では、「広東省労働人事争議処理法（草案）」について審議するとともに、同草案を採択した（2月27日付『南方日報』）。

3. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が広東自貿区南沙エリアを視察

●27日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が広東自貿区南沙エリアを訪れ、同自貿区の建設状況を視察・点検するとともに、習近平・総書記の重要指示の精神を貫徹・実行し、同自貿区の建設を急いで進め、同自貿区を広東省の高水準な対外開放のハブ拠点として構築しなければならないと強調（2月28日付『南方日報』）。

4. 第11期省党第15回巡視工作動員・手配会議の開催

●27日午前、省党巡視工作指導グループが上記会議を開催し、黄先耀・省紀律検査委員会書記が出席するとともに講話を行い、鄒銘・省党組織部長が習近平・総書記が第18期党中央第11回巡視状況に関する報告を聴取した際の重要講話の精神、王岐山同志が第18期党中央第12回巡視工作動員・手配会議で述べた講話の精神を伝達（2月28日付『南方日報』）。

5. 藍仏安・副省長、温国輝・広州市長が中国・シンガポール2国間協力連絡委員会第13回会議に出席

●2月27日、北京市で上記会議が開催され、申長雨・中国国家知的財産権局長、鄧鴻森・シンガポール知的財産局長、藍仏安・副省長がそれぞれ中国、シンガポール、広東省政府を代表し、「知識城知的財産権改革テスト三者協力枠組み協定」に署名した。張高麗・副総理、張志賢・シンガポール副首相が署名に立ち会い、温国輝・広州市長が同会議に出席した（3月1日付『南方日報』）。

6. 広東省珠江デルタ最適化発展基金の設立

●2月28日午後、省発展改革委員会、広東恒健投資株式有限公司が上記基金の設立・署名式を共同開催し、馬興瑞・省長が出席するとともに、藍仏安・副省長と一緒に関連協定の署名に立ち会った。同基金の総規模は500億元で、珠江デルタ地域の世界レベルの都市群、重要なプラットフォームの建設、産業の転換・高度化に対して重点的に投資を行い、省党委員会・省政府による同地域の最適化発展戦略の実施をサポートしていくこととなった（3月1日付『南方日報』）。

7. 広州地区の党・政府・軍の指導者による植樹イベントの開催

●3月1日午前、胡春華・省党書記、袁誉柏・南部戦区司令官、魏亮・南部戦区政治委員、馬興瑞・省長、李玉妹・省人代主任が広州大学城七万公園で上記植樹イベントに参加した（3月2日付『南方日報』）。

8. フォックスコンの第10.5世代ディスプレイ・オールエコ産業パークが着工

●3月1日、フォックスコンの第10.5世代ディスプレイ・オールエコ産業パークが広州市増城区で正式に着工し、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が起工式に出席した郭台銘・フォックスコン科学技術集団総裁及び国内外の企業代表者と会談した（3月2日付『南方日報』）。

9. 全省農村業務・貧困救済開発業務会議の開催

●2日午前、馬興瑞・省長主宰の上記会議が開催され、胡春華・省党書記が出席するとともに講話を行い、「三農」と貧困救済開発業務の新たな局面を絶えず切り開いていかなければならないと強調（3月3日付『南方日報』）。

10. 全人代広東代表団が結団式

- 3日午後、広東代表団が首都ホテルで全体会議を開催し、李玉妹・省人代主任を団長、馬興瑞・省長、徐少華・省人代副主任を副団長とする第12期全人代第5回会議の同代表団が正式に結団された（3月4日付『南方日報』）。
- 4日午後、全人代広東代表団は法律・規定に関する討議を行い、融資・リース、陳情、個人の金融情報保護、国家監察法、反動物虐待、人々の権益保護、環境教育等に関する法律の制定等、21の議案を提出した（3月5日付『南方日報』）。

11. 常万全・国防部長が広東省を視察

- 先頃、常万全・国防部長が広東省を訪れ、全国国防教育工作状況を視察し、習近平・国家主席の重要指示を真剣に貫徹・実行し、全国国防教育を普及させ深めていくよう、更に着実かつ効果的に推進しなければならないと強調。黄善春・省軍区政治委員、慎海雄・省宣伝部長、鄧海光・副省長等が視察に同行（3月4日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 広州代表団が香港で「2017 広州フォーチュン・グローバルフォーラム」のプロモーションを開催

- 27日、広州代表団が香港で上記プロモーションを開催し、「フォーチュン」世界トップ500社にランクインしている広州企業代表、香港企業代表、アジア太平洋地区の企業代表が「自貿区と開放・イノベーション」をテーマに、各分野における広州・香港・マカオの協力について対話を行なった（2月27日付『広州日報』）。
 - 27日、蔡朝林・副市長が上記プロモーションに出席するとともに、その主旨を説明した。「タイム」誌インターナショナル総裁のマルコポーロ氏、蘇錦梁・香港商務・経済発展局長、「フォーチュン」グローバルフォーラム常務理事のニーダム氏、香港中国連絡弁公室経済部、外交部駐香港特派員公署代表、「フォーチュン」世界トップ500企業代表等、100人余りが出席した（2月28日付『広州日報』）。
 - 3月2日、任学鋒・市党書記が広州市でアラン・マーレイ「タイム」社CCO兼「フォーチュン」誌編集長一行と会談（3月3日付『広州日報』）。
- ※CCO（チーフ・コンテンツ・オフィサー）：コンテンツ・マーケティング（トップレベルでコンテンツ戦略を統括）の総責任者。

2. 市党常務委員会議の開催

- 2月27日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が南沙区で開催され、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が南沙区を視察した際の自貿区建設に関する位置づけ・要求を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務を手配した（3月1日付『広州日報』）。
- 2月28日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、全国・全省裁判所業務執行会議の精神を実現するため、広州市において執行困難という問題を基本的に解決していく業務に関する状況を聴取し、更なる業務を検討・手配するとともに、「質の高い市を構築するための戦略の実施に関する広州市党委員会・市政府の意見」について審議し採択（3月1日付『広州日報』）。

3. 市党政法工作会议の開催

- 2月28日、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の政法工作に関する重要指示の精神、中央・省政法工作会议の精神を学習・貫徹し、2016年の政法工作について総括し、2017年の工作を手配した。任学鋒・市党書記が出席するとともに講話を行い、陳建華・市人代主任も出席し、謝曉丹・市政法委員会書記が工作を手配した（3月1日付『広州日報』）。

4. 任学鋒・市党書記等が郭台銘・フォックスコン総裁と会談

- 3月1日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代主任が、増城区の起工式に出席した郭台銘・フォックスコン科学技術集団総裁、同集団の協力パートナー代表一行と会談（3月2日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 市政府常務會議の開催

● 2月28日午後、許勤・市党書記兼市長主宰の上記會議が開催され、全国两会（全人代、全国政協會議）期間における深圳市の関連業務について再動員・再手配した（3月1日付『深圳特区報』）。

2. 許勤・市党書記兼市長が陳奮健・中国交通建設集团有限公司総裁一行と会談

● 3月2日午後、許勤・市党書記兼市長が陳奮健・中国交通建設集团有限公司総裁一行と会談し、双方は法治化・市場化の原則に基づき、ヘッドクォーター・エコノミー、国有企業改革、インフラ建設等の分野における実務協力を更に強化し、ウィンウィン、共同发展を実現させるとした（3月3日付『深圳特区報』）。

3. 吳以環・副市長がスイス・ベルン州経済相一行と会談

● 3日、上記会談で双方はより多くのプラットフォームを構築し、引き続き職業訓練（教育）、バイオ、新世代情報技術、腕時計製造等の分野における交流・協力を深めていくと述べた（3月4日付『深圳特区報』）。

※深圳市とベルン州は2015年2月、友好都市関係構築の覚書に署名している。

4. 深圳・シンガポール間のトラック輸送専用ルートが就航

● 3日、深圳市からベトナム、タイ等の国を経由してシンガポールにトラック輸送する専用ルートが開通した。これは深圳市による「一帯一路」戦略の実施であり、空と海を利用したASEAN諸国との経済・貿易の往来を深めた後の物流ルートをスムーズにするための新たな重要措置である（3月4日付『深圳特区報』）。